

カキ生育情報

千葉県

平成22年7月号

【6月の気象】

平均気温は平年に比べ、第1、第2半旬では1.5~2.2 低く推移したのに対し、第3~6半旬では0.4~2.1 高く推移し、月平均気温は0.3 高かった。

降水量は平年に比べ、第3、第4半旬で多かったが、その他の4半旬では少なかった。月合計は197mmで 平年より40mm(17%)少なかった。

日照時間は平年に比べ第1、第2半旬で多く、第3半旬以降は少なかった。月合計は159時間で、平年より24時間(18%)多かった。

6月前半は気温が低く推移したものの、天候は比較的良かった。しかし、中旬以降は曇雨天日が多くなり、気温が高く推移した。本年の梅雨入りは6月14日で、平年に比べ6日遅く、昨年より4日遅かった。

表1 平成22年6月の気象(暖地園芸研究所)

| 月 | 半旬 | 平均気温 | | 最高気温 | | 最低気温 | | 降水量 mm | | 日照時間 hr | |
|-------|----|------|------|------|------|------|------|--------|-----|---------|-----|
| | | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 6月 | 1 | 17.6 | 19.8 | 22.5 | 23.7 | 12.5 | 16.1 | 3 | 26 | 61 | 28 |
| | 2 | 18.8 | 20.3 | 23.0 | 23.9 | 15.5 | 16.9 | 8 | 30 | 31 | 25 |
| | 3 | 20.7 | 20.3 | 24.3 | 23.6 | 17.3 | 17.4 | 82 | 46 | 20 | 23 |
| | 4 | 23.0 | 21.2 | 26.2 | 24.4 | 21.1 | 18.4 | 68 | 41 | 19 | 21 |
| | 5 | 22.3 | 21.3 | 25.7 | 24.3 | 19.5 | 18.7 | 30 | 54 | 13 | 19 |
| | 6 | 24.2 | 22.1 | 27.6 | 25.3 | 22.3 | 19.3 | 8 | 41 | 16 | 19 |
| 合計/平均 | | 21.1 | 20.8 | 24.9 | 24.2 | 18.0 | 17.8 | 197 | 237 | 159 | 135 |

【樹の生育】

暖地園芸研究所の西村早生、松本早生富有及び富有の果実の発育は、平年に比べ横径、縦径ともやや小さくなっている。生育の進んだ昨年よりも、果実の発育はかなり遅れている。着果量は平年に比べ西村早生が並、松本早生富有は少なく、富有はやや少なくなっている。いずれの品種も、小果や奇形果の発生、樹間あるいは樹内での着果ムラが多かった。また西村早生でスジ果の発生が散見された。なお、本年の生理落果は6月中旬に始まり現時点ではまだ終了していないと思われる。いずれの品種も落果量はそれほど多くなっていない。また、いずれの品種も、目立った病虫害の発生は見られない。

いすみ市の西村早生、市原市の松本早生富有では、昨年に比べ果実はやや小さく、発育は遅れている。いずれも、今のところ目立った病虫害の発生はない。

なお、本年度のカメムシ類の発生量は多くなっており、新成虫による8月以降の吸汁害が懸念される。

表2 果実の発育(平成22年6月30日)

| 品種 | 調査地 | 横径 cm | | | 縦径 cm | | | 果径指数 | | |
|------------|------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|------|------|------|
| | | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 | 本年 | 前年 | 平年 |
| 西村早生 | いすみ市 | 3.2 | 3.5 | - | 2.6 | 2.7 | - | 1.23 | 1.31 | - |
| | 暖地園研 | 3.3 | 3.8 | 3.5 | 2.6 | 2.9 | 2.7 | 1.25 | 1.31 | 1.29 |
| 松本早生 富有 | 市原市 | 3.5 | 3.7 | - | 2.6 | 2.8 | - | 1.35 | 1.32 | - |
| | 暖地園研 | 3.3 | 3.9 | 3.6 | 2.8 | 2.9 | 2.8 | 1.32 | 1.32 | 1.21 |
| 富有 | 暖地園研 | 3.0 | 3.8 | 3.5 | 2.6 | 2.9 | 2.8 | 1.17 | 1.28 | 1.25 |

注) 果形指数 = 横径 / 縦径 .

平年値は暖地園芸研究所における平成2年から20年間の平均値 .

【6～7月の作業の要点】

摘果

西村早生では、果頂部が凹んでいる果実あるいは部分的な生育不良により不整形になった果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。なお、8月中旬頃と収穫前の9月にも、渋果を樹上選別するための摘果を行うので、7月の時点では目標着果数(10a当たり12,000果)より2割程度多め(10a当たり14,000～15,000果)に果実を残しておく。

なお、いずれの品種も目標着果数を下回る場合は、樹勢のバランスを保ち隔年結果を助長しないようにするため、病虫害被害果の除去など必要最小限の摘果にとどめる。

枝管理

不定芽(陰芽)が発生する場合は、枝葉が込まないように芽かき、摘心を行う。また、枝葉が込み合っているところや葉が傷んでいる場合も、病害の発生を抑え、枝の充実を図るため、枝や葉を間引きして風通しを良くする。特に、炭疽病の発生した軟弱な枝は必ず摘除する。なお、2次伸長枝はこの時期は放任する。

枝葉が少ない場合は徒長枝なども剪除せずに、ねん枝や誘引によって葉数確保に努める。

病虫害防除

7月から9月上旬は、炭疽病、落葉病、うどんこ病とカキノヘタムシガの防除時期であるが、西村早生などの極早生種では、安全使用基準に留意する。また西村早生では、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分注意する。

カキノヘタムシガの2回目の幼虫の食害が始まるため、8月中旬に防除を行う。なお、カメムシ類の発生が多い場合は、8～9月が防除適期となる。

防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>